

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	bonキッズ富田林		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51家庭	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【児童発達支援】 母子通所の為、安心して活動参加してもらいやすい	無理に母子分離はせず母子参加してもらう事から始め、本人がどのように見通しをつけていくか、安心して活動できるかをしっかり評価していく。出来ないことより、楽しく達成出来る事を見つけていく	おもちゃ・道具の別の使い方・遊び方がある事を、大人をモデルに見て知る・見て覚えていく・関わにも楽しいことがあるということをやっくり進めて行く
2	【個別療育】 小人数のため本人のペースで進めていける	本人の強みを見つけ、苦手をカバーする方法を見つけて行く。本人の強みを見つけ、苦手をカバーする方法を見つけて行く。行動・作業に必要な情報を確認しながら進めていけるよう情報の見方を伝えて行く	沢山の情報の中から自分に必要な情報を見つけて、自分で管理できる方法を本人と一緒に見つけて行く 対人関係・将来について、本人と相談
3	【グループ活動】 話し合いで自分たちのしたいことを決める。居場所を作っていく	基本は本人たちに任せながら、集団での意見交換のコツや気を付ける点など答えを伝えずアドバイスしていく。自分たちで考える機会を提供していく	家庭への伝言、次回の持ち物など自分で予定を管理して準備が出来る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達の利用者が少ない	児童発達と放課後等の人数のバランス	児童発達の募集の仕方と利用時間の検討
2	集団での課題が見えにくい	個別や特定の環境下では出来る事が沢山あっても、刺激の多い環境では本人がどのように過ごすか、何に刺激を感じるかが分かりにくい	園・学校と連携を取る事で、集団の課題を教えてもらう。本人が集団で過ごしやすくなる方法を先生方と見つけていけるよう、方法を検討中
3	過剰支援になりやすい	本人が困らないよう、先回りし過ぎてしまう	特性理解・自立・年齢に応じた支援について事業所内研修の実施